
2018年度 第3四半期

決算説明資料



2019年 2月 14日

2018年度 第3四半期業績

■業績概要	4
■セグメント別売上高	5
■セグメント別経常利益	6
■各セグメントの売上高・経常利益	7
■貸借対照表	14

補足資料

■2018年度 セグメント別 売上高・経常利益（予想）	16
■産業ガスならびにエネルギー関連の製品別売上高	17
■主要グループ会社 売上高	18

注 記 事 項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2018年度 第3四半期業績

2018年度 第3四半期 業績概要



(単位：億円)

	2017.3Q	2018.3Q	増減	
			金額	前年同期比
売上高	5,537	5,814	+277	105.0%
営業利益	297	301	+4	101.3%
(営業外損益)	17	25	+8	144.8%
経常利益	314	326	+12	103.7%
(特別損益)	▲10	▲22	▲12	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	188	188	+0	100.0%
経常利益率	5.7 %	5.6%		
ROE	7.1 %	6.6%		
EPS	96.14円	96.00円		

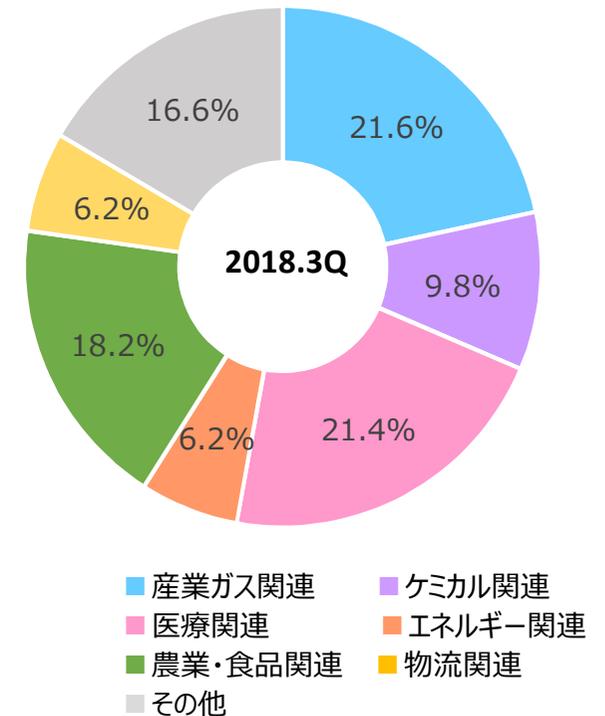
2018年度 第3四半期 セグメント別売上高

(単位：億円)



	2017.3Q	2018.3Q	増減	
			金額	前年同期比
産業ガス関連	1,178	1,257	+79	106.7%
ケミカル関連	507	569	+61	112.1%
医療関連	1,203	1,247	+44	103.6%
エネルギー関連	340	359	+19	105.6%
農業・食品関連	1,040	1,058	+18	101.7%
物流関連	340	361	+21	106.3%
その他	929	963	+34	103.7%
合計	5,537	5,814	+277	105.0%

セグメント別 売上高構成比



セグメント別 売上高増減



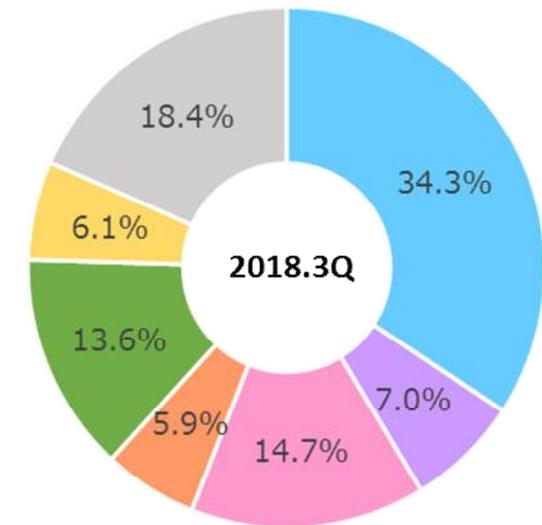
2018年度 第3四半期 セグメント別経常利益

(単位：億円)



	2017.3Q	2018.3Q	増減	
			金額	前年同期比
産業ガス関連	116	119	+3	102.8%
ケミカル関連	11	24	+13	219.7%
医療関連	53	51	▲2	95.7%
エネルギー関連	22	20	▲1	94.4%
農業・食品関連	47	47	+0	101.0%
物流関連	16	21	+5	129.0%
その他	61	64	+3	104.6%
調整額 ※1	▲11	▲21 ※2	▲10	-
合計	314	326	+12	103.7%

セグメント別 経常利益構成比

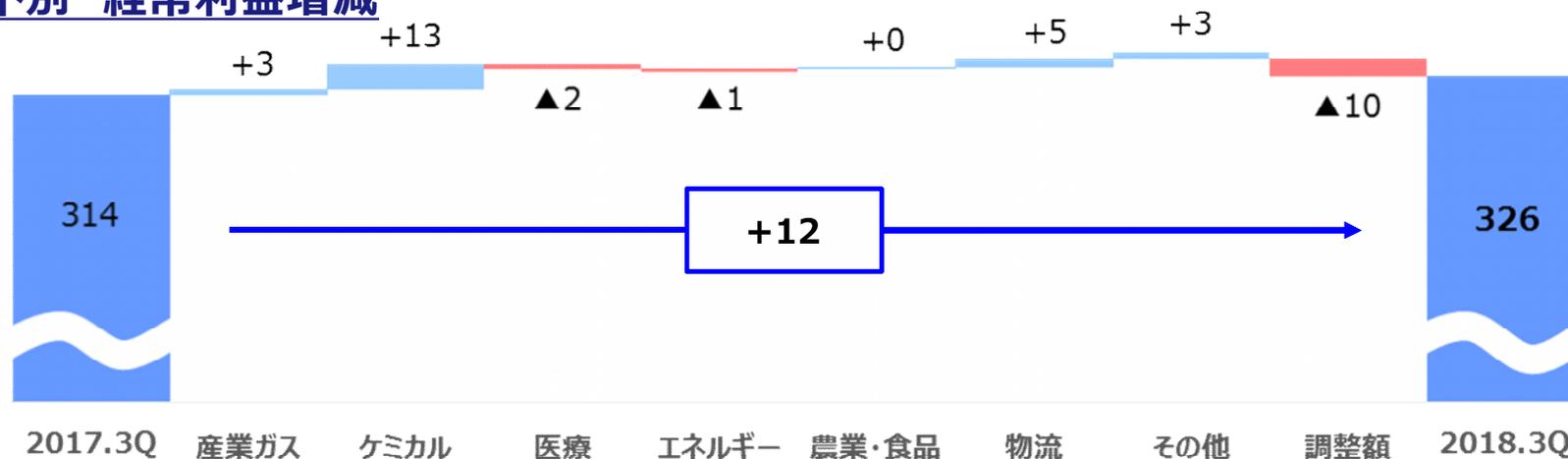


- 産業ガス関連
- ケミカル関連
- 医療関連
- エネルギー関連
- 農業・食品関連
- 物流関連
- その他

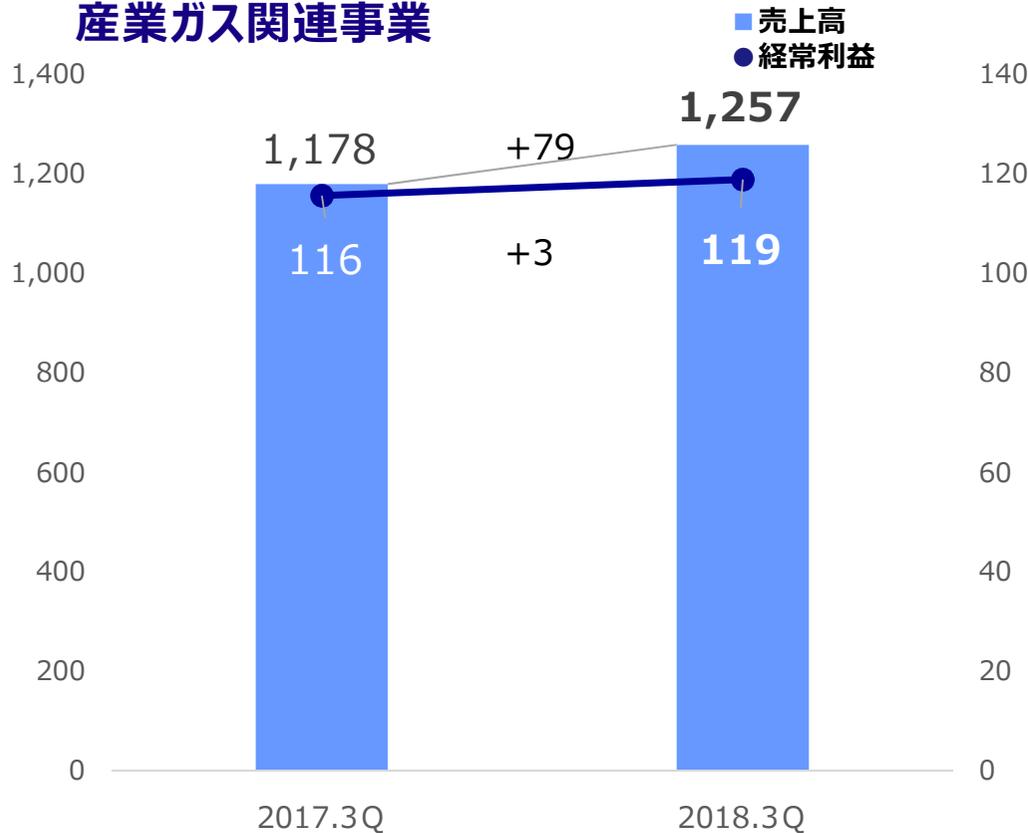
※1：各セグメントに帰属しない一般管理費等 ※2：基幹業務システムの導入等に伴うコスト増加の影響

セグメント別 経常利益増減

(単位：億円)



産業ガス関連事業



■ 売上高 1,257億円 (前年同期比106.7%)

- ・ローリーおよびシリンダー供給によるガス販売が増加
- ・高炉向けオンサイトガス供給は安定操業が継続
- ・ガス発生装置・低温機器の販売が増加
- ・日本パイオニクスの新規連結

■ 経常利益 119億円 (前年同期比102.8%)

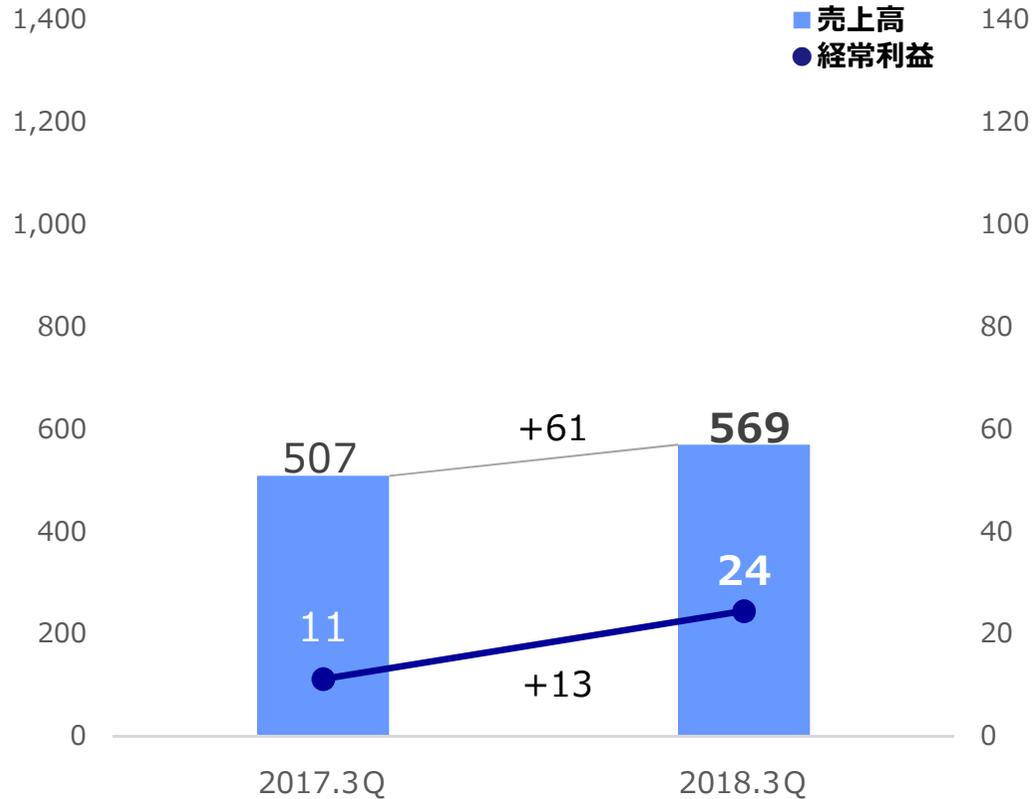
- ・ローリーおよびシリンダー供給によるガス販売が増加
- ・日本パイオニクスの新規連結
- ・電気料金、物流コストの上昇、自然災害の影響で増益幅が縮小

■ サブセグメント別 売上高

(単位：億円)

	2017.3 Q	2018.3Q	増減	前年同期比
ガ ス	878	919	+41	104.6%
機 器 ・ 工 事	300	339	+38	112.7%
計	1,178	1,257	+79	106.7%

ケミカル関連事業



■ 売上高 569億円（前年同期比112.1%）

- ・コークス炉精製ガスの単価および粗ベンゼンの販売数量増加
- ・川崎化成工業において有機酸製品の価格改定を実施
- ・ファインケミカルは、中国の生産工場において環境規制強化の影響を受け、減産

■ 経常利益 24億円（前年同期比219.7%）

- ・市況変動により、粗ベンゼンの収益改善が進展
- ・ファインケミカルにおいて不採算製品の見直しと価格改定が進展
- ・川崎化成工業において有機酸製品のスプレッドが拡大
- ・前年同期において計上したシーケムの持分損失が解消

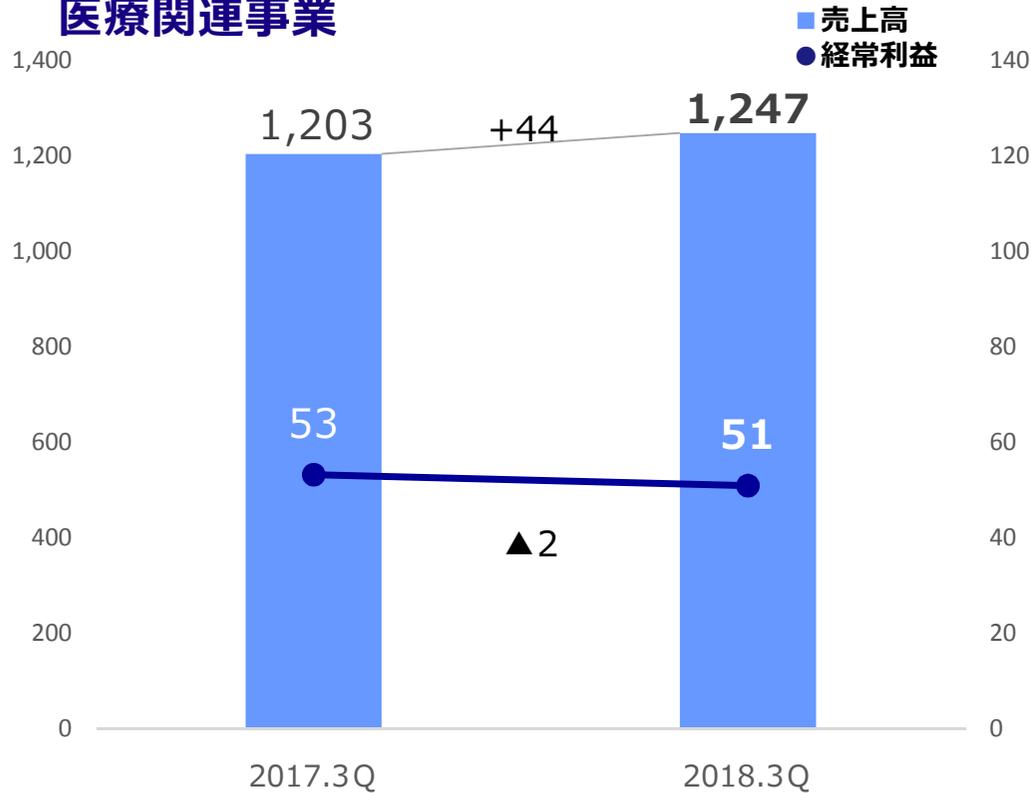
■ サブセグメント別 売上高

（単位：億円）

	2017.3 Q	2018.3Q	増減	前年同期比
コ ー ル ケ ミ カ ル	308	369	+60	119.6%
フ ァ イ ン ケ ミ カ ル	85	80	▲5	94.1%
川 崎 化 成 工 業	114	120	+6	105.2%
計	507	569	+61	112.1%

2018年度 第3四半期 セグメント別売上高・経常利益

医療関連事業



■ 売上高 1,247億円（前年同期比103.6%）

- ・医療サービス（滅菌、SPD）での取引拡大
- ・グローバルワイド他の新規連結

■ 経常利益 51億円（前年同期比95.7%）

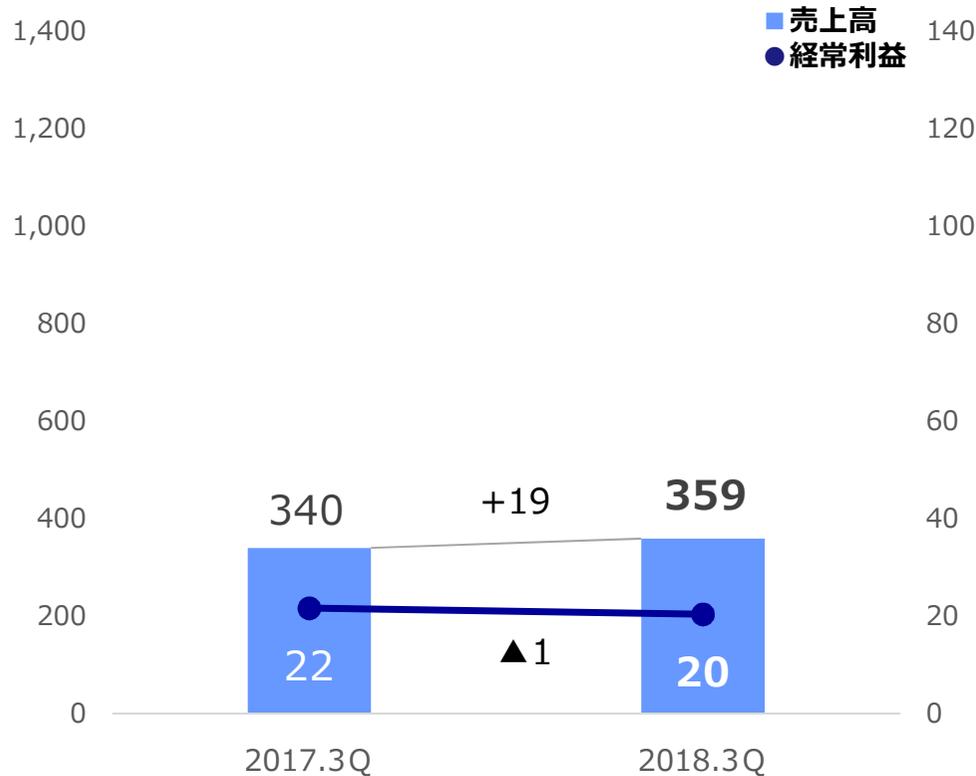
- ・設備において病院設備工事の案件が減少
- ・医療サービス（滅菌、SPD）での収益改善

■サブセグメント別 売上高

（単位：億円）

	2017.3Q	2018.3Q	増減	前年同期比
医療ガス	67	66	▲2	97.7%
設備	191	175	▲15	92.0%
医療サービス	561	588	+26	104.7%
医療機器	37	41	+4	111.1%
在宅医療	72	71	▲1	98.2%
衛生材料	174	179	+5	102.9%
その他	100	127	+27	126.6%
計	1,203	1,247	+44	103.6%

エネルギー関連事業



■ 売上高 359億円 (前年同期比105.6%)

- ・C P 価格に連動してL P ガスの販売価格が上昇
- ・工業用L P ガスの販売量が増加

■ 経常利益 20億円 (前年同期比94.4%)

- ・暖冬により一般家庭向けのL P ガス・灯油の販売量が大幅に減少
- ・地震の影響により、機器販売が減少し、配送・保安コストが増加

■ サブセグメント別 売上高

(単位：億円)

	2017.3Q	2018.3Q	増減	前年同期比
L P ガス	324	352	+28	108.6%
天然ガス関連ほか	15	6	▲9	42.2%
計	340	359	+19	105.6%

農業・食品関連事業



■ 売上高 1,058億円 (前年同期比101.7%)

- ・新規出店により青果小売分野の販売が増加
- ・野菜果実系飲料を中心に飲料の受託が拡大
- ・食品ソリューションにおいてスイーツの販売が不振

■ 経常利益 47億円 (前年同期比101.0%)

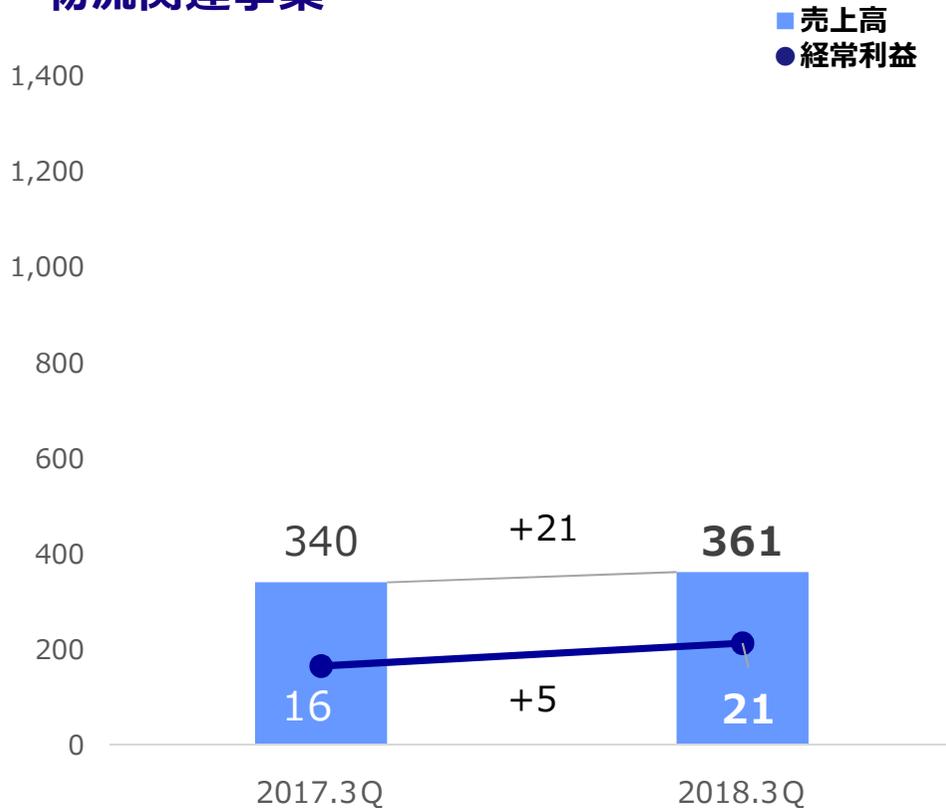
- ・農産において野菜相場の乱高下や北海道産かぼちゃの不作が影響
- ・飲料において人件費や減価償却費が上昇
- ・野菜果実系飲料を中心に飲料の受託が拡大

■ サブセグメント別 売上高

(単位：億円)

	2017.3Q	2018.3Q	増減	前年同期比
農 産	306	329	+23	107.4%
食 品 ソ リ ュ ー シ ョ ン	346	328	▲18	94.8%
飲 料	388	401	+14	103.5%
計	1,040	1,058	+18	101.7%

物流関連事業



1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0

■ 売上高 361億円 (前年同期比106.3%)

- ・ 3 P Lにおいてコンビニチェーン向けの物流業務が増加
- ・ 運送において一般貨物物流、北海道・本州間のシャーシ輸送の荷扱量が増加

■ 経常利益 21億円 (前年同期比129.0%)

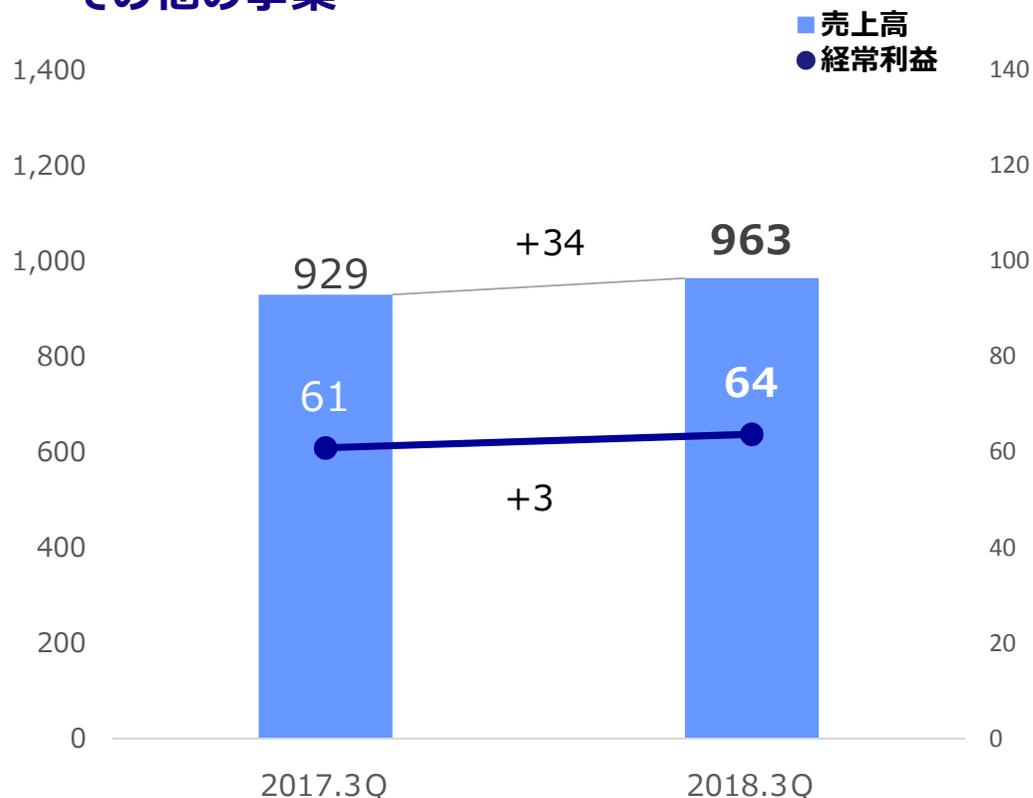
- ・ 車両の耐用年数変更により減価償却費が減少
- ・ 3 P Lにおいて受託料金の適正化が進展
- ・ 人件費の上昇および軽油の値上り

■ サブセグメント別 売上高

(単位：億円)

	2017.3Q	2018.3Q	増減	前年同期比
運送	149	157	+8	105.3%
3 P L	154	167	+13	108.2%
車体	37	38	+1	102.3%
計	340	361	+21	106.3%

その他の事業



■ 売上高 963億円（前年同期比103.7%）

- ・情報電子材料は自動車関連向けに販売が拡大
- ・化粧品などの人体用品を中心にエアゾールの受託が拡大
- ・日本海水において前年同期に水処理設備の大型案件の計上があったことによる反動減

■ 経常利益 64億円（前年同期比104.6%）

- ・情報電子材料が好調に推移
- ・日本海水において業務用塩の値上げが奏功
- ・エアゾール、リング、金属表面処理が堅調に推移
- ・タテホ化学においてヒーター用電融マグネシアの原料価格が上昇、電磁鋼板用マグネシアの販売減少

■ サブセグメント別 売上高

（単位：億円）

	2017.3 Q	2018.3Q	増減	前年同期比
日本海水	217	208	▲9	96.0%
タテホ化学	70	76	+5	107.3%
海水	287	284	▲4	98.7%
ゾール	134	151	+17	112.5%
情報電子材料	285	306	+21	107.5%
その他	223	222	▲1	99.8%
計	929	963	+34	103.7%

2018年度 第3四半期 貸借対照表



(単位：億円)

	2018年3月末	2018年12月末	増減	
			金額	前年比
流動資産	2,830	2,972	+142	105.0%
固定資産	4,101	4,457	+356	108.7%
資産	6,931	7,429	+498	107.2%
流動負債	2,232	2,371	+139	106.2%
固定負債	1,753	2,027	+274	115.7%
純資産	2,946	3,031	+85	102.9%
負債・純資産	6,931	7,429	+498	107.2%
自己資本	2,780	2,869		
有利子負債	2,032	2,438		
自己資本比率	40.1%	38.6%		
ネットD/Eレシオ	0.65	0.76		

補 足 資 料

（単位：億円）

		2017年度 （実績）	2018年度（予想）			増 減	
			通期	上期	下期	金 額	前年同期比
産業ガス関連	売上高	1,593	1,770	812	958	+178	111.1%
	経常利益	162	179	72	107	+17	110.7%
ケミカル関連	売上高	680	740	364	376	+60	108.8%
	経常利益	19	34	18	16	+15	183.4%
医療関連	売上高	1,709	1,830	806	1,024	+121	107.1%
	経常利益	103	116	33	83	+13	112.4%
エネルギー関連	売上高	515	580	207	373	+65	112.7%
	経常利益	39	42	8	34	+3	106.7%
農業・食品関連	売上高	1,337	1,420	701	719	+83	106.2%
	経常利益	49	53	30	23	+5	109.3%
物流関連	売上高	449	490	235	255	+41	109.1%
	経常利益	19	25	14	11	+6	132.4%
その他	売上高	1,253	1,370	631	739	+117	109.3%
	経常利益	82	87	42	45	+5	105.9%
（調整額）	経常利益	▲25	▲36	▲16	▲20	▲11	-
合 計	売上高	7,536	8,200	3,755	4,445	+664	108.8%
	経常利益	447	500	200	300	+53	111.9%

* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

(単位：億円)

	2017 3Q	2018 3Q	増減	
	金額	金額	金額	前年同期比
酸素	194	219	+25	112.8%
窒素	219	217	▲2	99.0%
アルゴン	102	105	+3	103.3%
炭酸ガス	156	162	+6	103.8%
水素	36	39	+3	109.1%
ヘリウム	31	31	+1	102.1%
その他ガス	141	146	+5	103.4%
産業ガス 計	878	919	+41	104.6%
LPガス	167	185	+18	110.9%
灯油	64	62	▲3	95.6%

(単位：億円)

		2017.3Q	2018.3Q	前年同期比
北海道エア・ウォーター ※1	地域事業会社	405	413	102.0%
エア・ウォーター炭酸	産業ガス	114	117	102.6%
エア・ウォーター防災 (連結)	医療 (病院設備工事ほか)	163	147	90.6%
エア・ウォーター・メディエイチ	医療 (SPD・滅菌)	304	321	105.7%
春雪さばーる (連結) ※2	農業・食品 (冷食・ハムデリカ)	246	232	94.2%
ゴールドパック	農業・食品 (飲料)	379	394	103.8%
九州屋	農業・食品 (青果販売)	191	206	107.6%

※1 2018.3Qには日江金属 (2018年度第1四半期より新規連結) の売上高を含む。

※2 プレシアホールディングス (2017年度に春雪さばーると合併) の売上高を含む。